



今宿小学校 学校だより



令和5年度 3月春休み号 令和6年 3月 25日発行 校長 奥谷 みさ

あたたかな日差しに、1年生のチューリップが大きく成長し、蕾が膨らみ始めました。2年生が育ててきたアネモネは、卒業式の入場通路をきれいなピンクやブルーの花で、色を添えてくれました。子どもたちの頑張りが花開くようで、なぜかうれしくなっています。

今年度の修了を迎える子どもたちも、進級への気持ちを膨らませています。今年度の成長を自信にし、春に向かって大きく花開くことを願っています。

6年生

ありがとう!

そして

卒業おめでとう!

3月19日(火)、今宿小学校第46回卒業式を行いました。保護者、来賓としてお迎えした地域の方々、教職員に見守られ、108名の卒業生が、今宿小学校を巣立っていきました。今年度は、5年生が在校生代表として卒業式に参列し、卒業生入場でリコーダー演奏を、呼びかけでは6年生に向けてお祝いと、学校を引っ張っていく決意を伝えていました。1年生から4年生、ぼぶら級は、壁面作品で式場を華やかに演出し、栽培委員会、花ボランティアさんが育ててくれたプランターの花々は、会場に良い香りとしほりを添えてくれました。みんなのおめでとうの気持ちがあふれた温かい卒業式となりました。

私は、卒業証書を一人一人に手渡しましたが、その真剣な眼差しに、中学に向けての強い決意を感じました。式辞では、自分にしかない個性を磨き、自分にしかない良さを強みにし、もっともっと輝ける自分になってほしいという願いを込めて「一人一人の輝きを大切に」という言葉を贈りました。新しい環境の中、自分と誰かを比べたり、他人と同じになったりする必要はないのです。自分の良さを気付いてくれる仲間とともに、自分の輝きを自信に成長して行ってほしいと思います。また、ネルソン・マンデラ氏の言葉とともに、「失敗を恐れず挑戦しよう!」というメッセージも伝えました。子どもたちは、今まで以上に決断していかなければならない局面に出会うでしょう。その時に失敗、決して転ばないことを選ぶのではなく、何度転んでも立ち上がり、挑戦していくことこそ意味があるのです。立ち直ることでより強い自分になれるのですから。そんな思いを込め伝えた言葉を一心に聴く卒業生の姿、そして、最後の合唱で自分たちの力を出し切り歌う姿に、子どもたちのさらなる成長と活躍を見守り続けたいと思いました。ご来賓の方々からは、小学校での子どもたちの成長を、次につなげていけるよう支えていきたいという言葉いただきました。6年生として学校を支えてくれたことへの感謝と、中学生としてのさらなる成長に期待をこめ、教職員一同、大きな拍手と激励の言葉をかけ、卒業生を見送りました。

〈令和5年度 修了を迎えて〉

今年度は、教育活動への制限もなくなり、色んな行事の再始動をしていく1年となりました。止めていた行事を再始動する難しさを感じつつ、今までのやり方にとらわれずに考え出すことの良さも体験しました。また、子どもたちは、声をかけ、励まし合い、協働することによって、友だちの良さや自分とは違う考え方見つける機会が多くなり「子どもたちが関わりの中で成長していく。」ことも実感できました。学びの多い1年でした。

保護者の皆様には、今年度も、本校の教育活動に温かなご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。見守りボランティアの方々、推進協、プラザ今宿、地域の皆様には、子どもたちを温かく見守りいただきましたこと、感謝申し上げます。

今宿小学校の子どもたちの良さは、素直で真っすぐ頑張るところです。子どもたちが「良さ」を「自信」にし、成長することを支えていきたい。この思いを胸に、来年度も、全職員が一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。今後とも今宿小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、この1年間のご支援 どうもありがとうございました。